6章　コンクリート工事

下記以外（特-06）図による

6.8.2
一般事項

⊙型枠下部には清掃口を設け、コンクリート打設前に内部の釘や金物等を取り除き、木屑は水で洗い流すこと。
⊙コンクリート打設前及び配筋検査後に、必ず型枠工・鉄筋工立会いでかぶり厚の再確認を行うこと。
⊙柱や壁の足元部打設時は、当該型枠部分を木槌等で叩きコンクリートの充填を促すこと。
⊙型枠の足元部分には、建込み前に適当な穴を開けておき、コンクリートの充填を確認すること。

7章　鉄骨工事

⊙構造図による

8章　コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

(8.2.2)
材料

コンクリートブロック

種類	厚さ(mm)	化粧有りのブロックの適用箇所	透水性
・空洞ブロック-16	150		
・型枠ブロック-20			
・			

(8.5.2)
材料

押出成形セメント板

種類	表面形状	厚さ(mm)	取付け工法種別
外壁パネル	フラットパネル	・50 ・60	・A種
	デザインパネル(リブ付15)	・50 ・60	・B種
	タイルベースパネル	・60	
間仕切壁パネル	フラットパネル	・50 ・60	・B種
	デザインパネル(図示)	・50 ・60	・C種
	タイルベースパネル	・60	

塗装の種類・・・無塗装品

9章　防水工事

9.5.3
防水層の種別及び工程

塗膜防水の防水層の種別

種　別	仕　上	施工箇所
ウレタンゴム系塗膜防水		
・X－1	＊標準色（・シルバー＊カラー）	
・X－2	＊標準色（・シルバー＊カラー）	
ゴムアスファルト系塗膜防水		
・Y－1	＊標準色（・シルバー＊カラー）	
・Y－2	＊標準色（・シルバー＊カラー）	

9.7.2
材料

シーリング材の種類，施工箇所
⊙非着体に応じたものとし，(表9.7.1)を標準とする。

保証年限

防水保証年限は、引渡しの日から次表のとおりとする。

保証年限（年）	防水の種類
１０	⊙ アスファルト防水 ・ 改質アスファルト防水 ・ シート防水 ・ 塗膜防水 ・ 浸透性塗布防水

防水の水張試験

1. 水張試験
・行う　⊙行わない
1)　水張試験の範囲　（　　）
2)　水張試験の時間　（＊24時間　・48時間　）
3)　水張試験における水深は、設計荷重を超えない範囲で設定する。

10章　石工事

10.1.3
施工一般

1.仕上げ精度
1) 仕上り面の凹凸・高低の仕上り精度は、壁にあっては3mにつき±1.5mm以内、床にあっては3mにつき±3mm以内とする。
2) 合端は糸面取り、出隅部は丸面取りまたは角面取りの仕上げとする。
2.目地
1) 一般目地（乾式工法は除く）
イ.設計図に記載なき目地幅は次による。

石種	仕上げ	壁用 外部（mm）	壁用 内部（mm）	床用 外部（mm）	床用 内部（mm）
花崗岩	磨き	6	6	6	4
	ジェットバーナー	8	6	6	4
	叩き	8	6	6	4

ロ.ねむり目地は目地幅0.5mm程度とし、石小口にはテープ（塩化ビニルなど）を張り、石の伸縮などによる破損を防止する。
ハ.目地は空隙がないように十分充填し、1～2mmの沈み目地とする。
ニ.化粧目地に普通セメントまたは白セメントを使用する場合は、色合いにより寒水砂または洗い細砂を使用する。
2) 伸縮調整目地
イ.コンクリートのひび割れ誘発目地部及び入隅部・異種下地と接する部分・サッシなどの取り合い部には、伸縮調整目地（シーリング材充填）を設ける。

10.2.1
石材

1.天然石の品質
1) 床用石材　＊1等品　・2等品
2) 内壁及びその他の石材　＊1等品　・2等品
2.石材の種類と、施工箇所、形状、寸法、表面仕上げは次による。

施工箇所	形状・寸法	種類（産地、名称）	表面仕上げの種類
内部　上框	W50　厚さ30mm	花崗岩（御影）	本磨
内部　幅木	H75　厚さ20mm	花崗岩（御影）	本磨

11章　タイル工事

11.2.1
タイル
11.3.3
施工

タイルの形状，寸法，きじの質及び工法等

施工箇所	形状・寸法	表面仕上	色調・メーカー
トイレ床	磁器質300角	ノンスリップ	アベニュー（名古屋モザイク株） ドルメン（Ｋｙタイル株） 同等品以上
トイレ壁	吸湿タイル（せっ器質） 300×150角		エコカラット（LIXIL株） 同等品以上
外壁	磁器質50角	フラット	N MOSAIC （Ｋｙタイル株）同等品以上

外壁タイル張り工法　・ 弾性有機系接着剤張り
外壁タイル張り下地コンクリート面の処理
・ ＭＣＲ工法　・目荒し工法（高圧洗浄）

12章　木工事

12.2.1
木材

1. 製材
・「製材の日本農林規格」による製材
・「製材の日本農林規格」以外の製材

2. 造作用集成材

施工箇所	額縁	笠木	コーナー見切	
樹種	タモ	タモ	タモ	
寸法	図示	図示	図示	

12.3.1
防腐・防蟻処理

◎防腐処理
防腐剤：　※（社）日本木材保存協会認定品又は同等品
・
◎防蟻処理
防蟻剤：　⊙有機リン系　・
「防除施工標準仕様書並びに安全管理」（（社）日本しろあり対策協会）による。
保証期間５年、専門業者の責任施工とし、報告書を提出すること。
施工箇所　・図示による　・（　　）

13章　屋根及びとい

13.2.2
長尺金属板葺の材質
13.2.3
工法

化粧鋼板屋根は次による。
1)　材質　塗装溶融55%アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板（屋根用）
2)　板厚　0.4mm
3)　色　遮熱カラー
4)　性能　心木無し瓦棒葺き
5)　製造所（製品名）　三晃金属工業（株）（A号瓦棒葺）同等品以上

13.5.2
とい

1. とい・ルーフドレン・フロアドレン・その他の材料

名称	材質	呼び径	摘要
たてどい（屋外）	＊配管用鋼管 ⊙硬質塩化ビニル管 ・ステンレス製 ・アルミ製	図示による	＊ハイキャップ型 ⊙一般型
たてどい・横引とい（屋内・ピット）	＊配管用鋼管	図示による	＊ハイキャップ型 ・一般型
ルーフドレン	＊鋳鉄製 ・ステンレス鋳鉄製	図示による	＊ハイキャップ型 ・一般型
フロアドレン	＊鋳鉄製 ・ステンレス鋳鉄製	図示による	
オーバーフロー	＊ステンレス製	図示による	
取付け金物	⊛ステンレス製		

2. 防露材　＊表13.5.4による
3. 鋼管製といの防露巻き　＊表13.5.5による
4. フロアドレンの取付けは、コンクリート打込み前に先付けを原則とし、つばをコンクリート天端より20mm程度下げて取り付ける。
5. たてどいは、各階ごとに床スラブに自重受けを設ける。
6. といの曲がり部分には掃除口を設け、その下に天井がある場合は天井点検口を設ける。
7. 落葉などによりルーフドレンがつまるおそれがある箇所は、つまり防止用の高密度ポリエチレン製枯れ葉除けネット100φを設置する。
適用箇所（休憩所、体育倉庫　）
製造所（製品名）　積水化学工業（株）（枯れ葉よけエスロネット）同等品以上

14章　金属工事

14.2.1
ステンレスの表面仕上げ

種類	施工箇所
・ＨＬ程度	
⊙No.2B程度	図示箇所
・鏡面	

14.2.2
アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

種類	種類	色調など	施工箇所	備　考
・Ａ－１種（無着色）	・AA15　・			
・Ａ－２種（着色）	・AA15　・			
⊙Ｂ－１種（無着色）	⊙B　・	＊シルバー		塗膜　＊つや消し 皮膜　＊マット処理
・Ｂ－２種（着色）	・B　・			
・Ｃ－１種（無着色）	・AA6　・			
・Ｃ－２種（着色）	・AA6　・			
・Ｄ種				
・着色塗装				

1. アルミニウムがコンクリート・モルタル・吹付けロックウールなどのアルカリ性材料に接触する場合及び異色金属が互いに接する場合の接触腐食防止処理を行う。
2. ボルト・小ねじ・釘・座金などの結合用材・取付け金物でステンレス・アルミニウム・鋼などと接触するものはステンレス製とし、接する金属により必要な接触腐食防止剤処理を行う。

14.2.3
鉄鋼の亜鉛めっき

1. 鉄鋼の亜鉛めっきの種別

表面処理方法	種別	施工箇所
溶融亜鉛めっき	⊙A種	外部　図示による
	・B種	
	・C種	
電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

2. 外気に接するボルト・ナットは溶融亜鉛めっきまたはステンレス製とする。
3. 溶融亜鉛めっき鋼材の加工後の切断、穴あけは行わない。万が一、あと加工が必要な場合は、監理者の指示による。

14.4.2
軽量鉄骨天井下地

1. 野縁などの種類は次による。
＊様仕表14.4.1により屋内は19型、屋外は25型
2. アルミスパンドレル・パネルなどの金属製天井材の緯絶材は、ステンレス製または同等の耐食性を有するものとする。金属製重量天井または外部軒天などの場合はステンレスボルトを用い、吊り下げ式の場合はダブルナット留めなどの緩み止め対策を行う。
3. 屋内で天井のフトコロが1.5m以上の場合の補強は14.4.4-hによる。
3m以上の場合は吊ボルト12φとし、高さ1.8m以内ごとに14.4.4-hによる補強を行う。
4. 屋外で天井のフトコロが1.0m以上の場合の補強は14.4.4-hによる。
2m以上の場合は吊ボルト12φとし、高さ1.8m以内ごとに14.4.4-hによる補強を行う。
5. 下がり壁・折上げ天井など、天井に高さ300mm以下の段違いがある場合は、野縁受と同材または L-30ｘ30ｘ3mm以上の部材で、周囲2.7m程度に補強用振止（ブレース）を設けて補強し、一体化する。段差が300mmを超える場合は設計図による。

14.8.2
手すり
14.8.3
タラップ

手すり及びタラップ

種類	種別	表面処理の種別
手すり	・ステンレス製 ＳＵＳ３０４	・ＨＬ程度　・ＮＯ．２Ｂ程度
	・鋼製	外部　・溶融亜鉛めっき（Ｃ種） 内部　・電気亜鉛めっき（Ｅ種）
タラップ	⊙ステンレス製 ＳＵＳ３０４	⊙研磨なし　・ＨＬ
	・鋼製	

金網類

種別	線形（mm）	網目（mm）	適用
・ひし型金網	2.5	0.625	
・クリンプ金網	2.5	1.0	
・ステンレス平織金網	0.5	2.5	
・溶接金網	3.2	50ｘ50	
⊙溶接金網	6.0	150ｘ150	

15章　左官工事

(15.5.2)
材料

仕上塗材

種類	呼び名	仕上げの形状	工法	備考
・複層仕上塗材（ＦＴ）	・防水形複層塗材CE ・防水型複層塗材E ・防水形複層塗材RS ・防水形複層塗材RE	・ゆず肌状 ・凸状 ・凹凸状	・吹付け	上塗材種類 ・水系アクリルのつやあり ・弾性水系アクリルシリコン仕上（超低汚染型）

その他

撥水材吹付
材料～シラン系クリア
製造所（製品名）菊水化学工業(株)（シランコートHS）　同等品以上